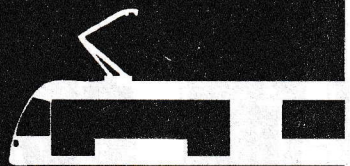
路面電車と都市の未来を考える会
RACDA
かわら版



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

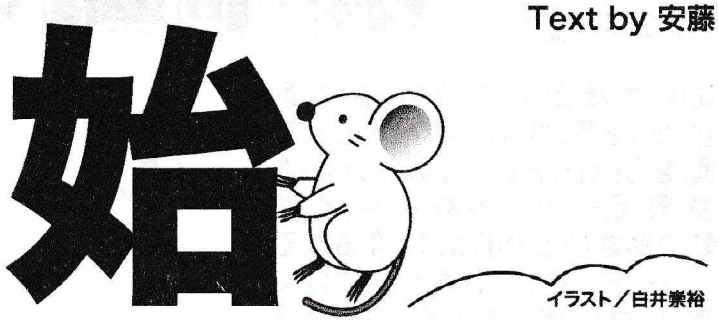
第56号

2008/12

増刊とめ市号

RACDAが選ぶ今年一年の漢字

Text by 安藤 亮



イラスト／白井崇裕

■今年も残すところあと３日となりましたが、皆様はどのような１年だったでしょうか。 今年１年を振り返る際に、年末になりますと全国公募による一年の世相漢字が京都の清水寺で毎年発表されますが、今年の漢字一字は「変」になった事は知っておられる方も多い事でしょう。応募者が「変」を選んだ理由として、

1. 日米政治の変化
2. 世界的な金融情勢の変動
3. 生活に不安を覚えた一年（食に対する安全性についての意識の変化。物価の上昇により生活が苦しい方向に変わった等）
4. 世界的な気候変化
5. 明るい未来に期待をこめて（様々な分野で日本人が世界的に活躍する時代のいい変化）

のような事が挙げられるそうです。

■そこで筆者の独断と偏見ではございますが、岡山の街づくり又は街の魅力の発信という観点で2008年を振り返り、今年の漢字一字を選んでみたいと思います。

■改めて振り返ってみますと、本当にいろいろな事があった１年でした。
岡山の街づくり 又は街の魅力の発信という観点でみても、大きく変化したという事で「変」という 漢字もあてはまります。そこであえて違う漢字を選ぶとすれば、政令都市昇格やＪリーグ 昇格などから「昇」。いろいろな施設や団体が誕生した事から「生」。もしくは各団体やスポーツ界の躍進などから「躍」もいいかもしれません。

■しかし筆者があえて選ぶとすれば「始」という字を選びたいと思います。
各団体・チーム・市民の協力のもと2008年は大きく実績や結果を残せた年だと思います。いろいろな事が本格的に動き出して、岡山の街づくり又は街の魅力の発信の礎が出来上がった年だったように思えます。2008年はスタート地点。岡山の夢・未来への「発展」「躍進」「実現」への始発駅だったように思えます。だから「始」という字を選ばさせていただきました。
皆様はどのような１年でどんな漢字を選ばれたでしょうか。
2009年が皆様にとりましてもよい年となりますように。
夢・未来へ向かって出発進行！

■1月・・・岡山商工会議所の青年部有志が「チーム岡山球団設立推進委員会」を立ち上げ
岡山にプロ野球チームを誕生させ、独立リーグ「四国・九州アイランドリーグ」参入を目指すことを発表。

■2月・・・ダイワロイヤルネット岡山駅前がオープン
岡山駅前一等地の旧岡山会館ビルに昨年のビックカメラに続き、ホテルがオープン。

■3月・・・山陽線岡山ー高島間に西川原駅開業
２００５年１０月の北長瀬駅（岡山市北長瀬）に続き、岡山市内にJRの駅が開業。

■4月・・・本町プラザが竣工
岡山市本町８番地区第一種市街地再開発事業が完成し、15階建ての住宅（マンション）・店舗棟や12階建てのホテル棟などがオープン。

■5月・・・岡山市長への「提案箱」スタート
サービス向上のため幅広く市民の声を市政に反映させようと、岡山市が実施。

■6月・・・岡山市に設けられる「区」の名前、「北」「中」「東」「南」が決定。
2009年４月に政令指定都市移行を目指す中で、公募によって区名を決定。

■7月・・・『ビアガー電』一番列車出発！
岡山電気軌道の低床型車両「MOMO」を使ったビール電車「MOMO DE ビアガー電」が運行され、七夕の街中をにぎやかに走り抜けた。（RACDAネタ）

■8月・・・ 北京五輪にて天満屋所属中村選手快走
五輪に三大会連続女子マラソン選手を送り出している天満屋所属の中村選手が見事に北京で完走。13位の結果を残す。

■9月・・・ファジアーノ岡山天皇杯でも大健闘
天皇杯に初出場を決めたファジアーノ岡山が３回戦まで勝ち残る大健闘。９月時点 で、ＪＦＬリーグでも３位と岡山初のプロスポーツチーム誕生が現実味を帯びてきた 。

■10月・・・ 岡山市の政令指定都市移行が正式決定
国会にて開催された閣議において、岡山市の2009年４月１日の政令指定都市移行が正式決定。

■11月・・・瀬戸内の島々交流協議会（通称・島会）の発足
後楽園や犬島などの魅力を発信し、京橋から旭川を下って犬島、豊島（香川県）などの島々を巡る定期観光路線の新設やアートフォーラムなどのイベント開催を目指す「瀬戸内海の島々交流協議会」（通称・島会）が発足。記念シンポジウム開催。

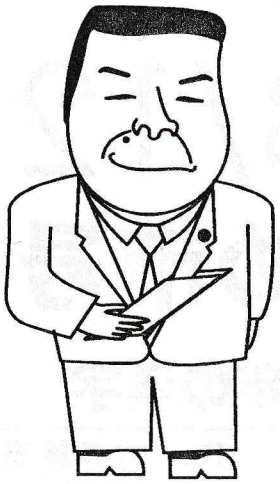
■12月・・・ファジアーノ岡山のJリーグ昇格が決定
ＪＦＬリーグの年間４位の成績を収め、Ｊリーグ昇格が正式に承認された。岡山初の待望のプロスポーツチームの誕生。来年からは舞台をＪリーグに移す。

今年も本当に一年色々ありました。
来年も路面電車と都市の未来を考える会 RACDA をどうぞよろしくお願い致します。

RACDA 事務局
〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15（禁酒会館 3F）
TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ RACDA 事務局 wiki 検索

RACDAかわら版2008年12月とめ市 増刊号



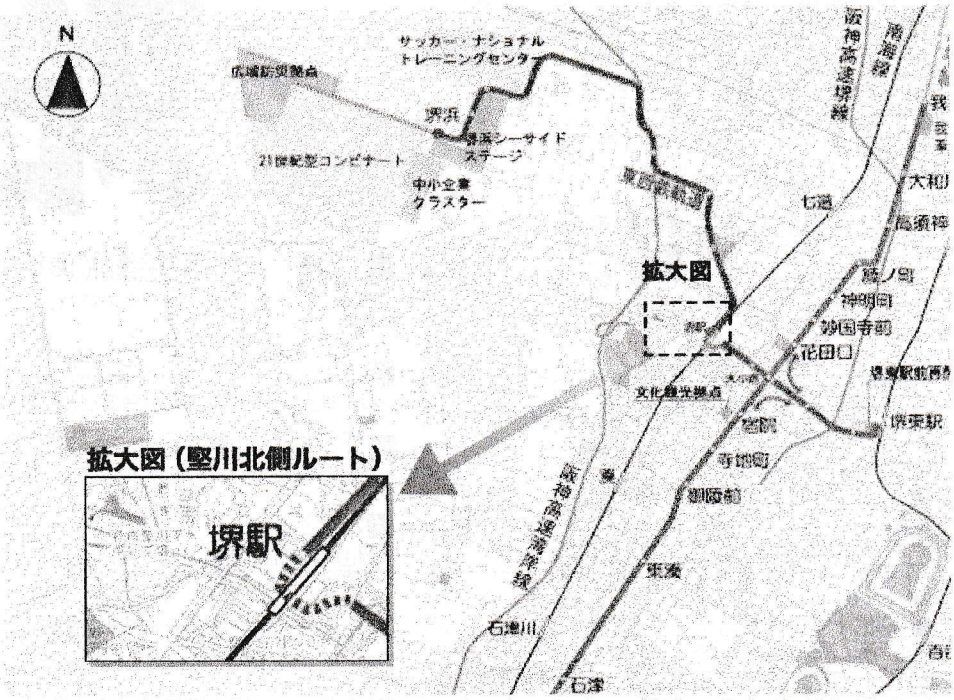
弁護士さんが見た
堺市LRT計画 報告

■岡山弁護士会の公害環境委員会が12月、大阪・堺市のLRT計画を視察しました。堺といえば与謝野晶子サンのあの詩、<堺の町のあきびとの旧家を誇るあるじにて…>です。でもボク的には<暖簾の陰に伏して泣く　あえかに若き新妻を…>のクダリのほうが萌え…あ、すみません。LRTと関係ありませんでした。

■現代の堺は、晶子サンの詩の面影があまりありません。なにせ大阪の真ッ隣なので、政令指定都市つっても「海側の埋立工業地帯付き・巨大ベッドタウン」です。交通軸は南北方向に集中し、南海本線、高野線、阪堺電鉄（路面電車）、地下鉄御堂筋線、JR阪和線が平行して大阪めがけて走っています。堺市の計画は、南海本線堺駅と高野線堺東駅間1.7kmを、「大小路」通り（現在シャトルバス運行中）沿いにLRT（上下分離方式）を新設して結び、これと十字に交差する阪堺線の堺市内部分7.9kmをLRT化し、さらに南海本線の西、海側の埋立地（シャープの液晶パネル工場の立地が決まって建設工事中）まで5.2kmを新設する、というものです。予測される建設費用、部分約115億円、部分推定約300億円。

■さて弁護士は商売がら、疑り深くて底意地が悪くて無遠慮なモノなので堺市と計画に批判的な市民の皆さんとの双方から、それぞれご説明をいただきました。

そう、堺市の計画には批判があるのです。LRTと連動する具体的な街づくりビジョンがない、大小路がかえって不便になる、収支見通しが甘くてあいまい、阪堺線のLRT化が堺市部だけでは効果が薄い、海側には住宅地も商店もないぞ、etcの中で最大の批判が「市民への説明が不十分だ」です。



堺市ホームページから引用

■実際、車種を含め、かなりの部分の具体的計画が未公表です。しかも堺市主催の公開の市民向け説明会が開かれていません。堺市によると、いま沿線の地権者に説明中で、それがすまないと計画を具体的に決められないのだ、とのこと。たしかに行政のこの種の計画は、発表したとたんに八方から蜂の巣にされがちです。そこでまず水面下で根回しし、コンセンサスを得てから計画を発表し、発表したらもう変更しない、というのが、お役所の普通のやりかたです。

■しかしながら、モノはン百億（国の補助は3分の1くらいしか見込めない）のLRTであり、開業後も相当の営繕費用がかかりそうなのに、いま程度の市民説明で突貫するというのはいかがなものか。選択肢があるうちから一切合財オープンにして、議論しながら計画を煮詰めていくのが本筋じゃないか、という疑念が去りません。そもそも、LRT推進の立場で視察にきた人間に、こういう感想を抱かれてしまったということからして、堺市の戦術は成功しているようには思われません。

■岡山も、吉備線のLRT化に向けてこれから正念場ですが、ある意味滅茶苦茶参考になる、たいへんに意義ある視察ではありました。（光成卓明）